

小学校の学習支援『川の防災の出前講座』

実施校 上越市立南本町小学校

学年・人数：5年生・43名

実施日：令和6年5月23日（木）

～川の防災について～ 南本町小学校5年生が関川について学びました！

● 実施概要

日時：令和6年5月23日（木） 13:40～14:40

場所：南本町小学校 教室

参加者：南本町小学校5年生 43名

内容：1. 室内講座～プレゼンテーション資料を用いた関川の学習～

- ①関川ってどんな川（名前の由来・深さ・流れる速さ・水の量等について）
- ②関川の生き物（魚類・鳥類・ほ乳類ほか クイズ形式）
- ③過去の水害の様子
- ④治水の方法（河川整備・青田川放水路や矢代川付替・これからの治水について）
- ⑤マイタイムラインの考え方

2. 質問タイム

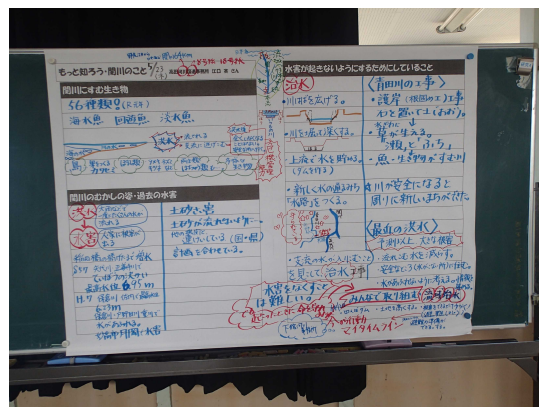
● 講座の様子



関川に住んでいる生物について、クイズ形式を交えて楽しく学びました。



過去の水害の様子や被害を減らすためにどんな対策を進めてきたのかを学びました。
近年は気候変動により大雨の頻度が増え、洪水の規模も大きくなってきていることから、流域のみんなで「流域治水」に取り組んでいることも学びました。



福田先生より出前講座の内容をわかりやすく整理してまとめて頂きました。

最後に水害を無くすことは難しい。あらかじめ備えて、早めに避難することで、自分や家族の命を守ることが大切だとみんなで確認しました。

〔児童のみなさんからの質問と回答〕

Q1：洪水のとき川の中の魚はどうなるんですか？

A1：流されてしまう魚もいると思いますが、川の水が増えてくると本川に流れこんでいる流れが緩い支川や水路に移動して、洪水が終わるとまた戻ってくると言われています。
危険を察して逃げているようです。人間も見習わないといけませんね。

Q2：川でボランティアをしている人はいますか？

A2：青田川では地域の方々は草刈りや清掃活動を行っています。